



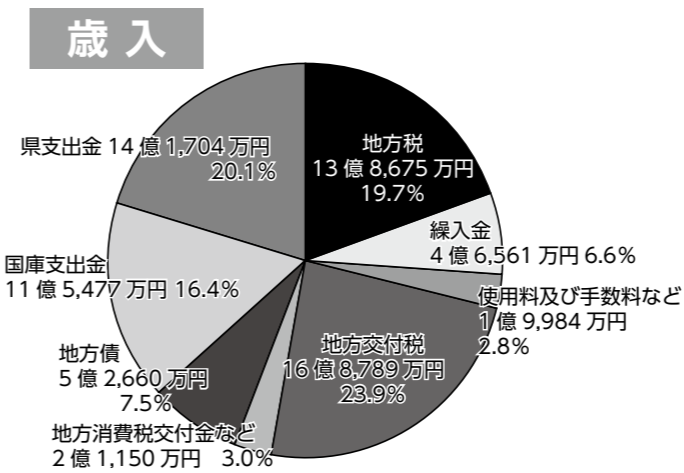
予算って どうやって作るの？

例えば、道路を1本造るとします。
町は予算に従って事業を行うので、まずは道路を作るためにいくらかかるか、国や県からお金をもらえないかなどを調べ、予算案を作ります。その案を、町民の代表である議会で説明します。議会で認められた段階で予算案が正式な予算に変わり、道路を造ることができます。
なお、行政は、成立した予算に従って計画どおりに事業を行わなければなりません。
つまり、予算が決まるということは、町が行う事業が決まるということです。

平成25年度予算は、3月5日から15日まで開催された3月町議会定例会で可決され、成立しました。今月号では、一般会計を中心に今年度予算の中身を見ていきます。

今年度の予算は

今年度予算は、東日本大震災により被害のあった施設等の復旧・復興事業や原子力災害に係る事業のため、一般会計、特別会計などを合わせた予算総額は、105億4,975万円となりました。一般会計では、前年度比6,000万円、0.8%減で、70億5,000万円という、過去最高の予算であった昨年度と同規模の大型予算となりました。



歳入では、歳入全体の約2割弱を占める町税については、法人町民税が依然として厳しい経済状況により、8.5%減の9,204万6千円、個人町民税については、前年比8.3%増の3億9,011万5千円と見込み、固定資産税にあっては、昨年とほぼ同額の7億9,631万5千円となり、町税総額では、前年比2.3%増の13億8,674万7千円を計上しました。
さらに、地方交付税は、震災復興特別交付税により、前年比30.8%、3億9,789万4千円増の16億8,789万4千円を見込み、繰入金については、財政調整基金などから、前年比36.3%増の3億982万5千円のほか、「東日本大震災復興交付金基金」から9,680万円、町債については、臨時財政対策債が前年度比22.4%、5,200万円増の2億8,400万円、学校教育施設等整備事業債1億4,510万円を計上しました。

予算編成の方針



鏡石町長 遠藤 栄作

平成25年度の予算の概要について申し上げます。
平成25年度は、予算編成にあたりまして、国内外の経済動向や国の財政運営の基本方針、東日本大震災の影響や厳しい財政状況などを踏まえ、町政運営の基本方針を示す第5次総合計画の初年度の政策評価を行うとともに、まちの将来像である、「かわる かがやく 牧場の朝」のまちが「みいし」の実現に向け、①「町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります！」②「心豊かな人を育て、地域文化を大切に作る鏡石

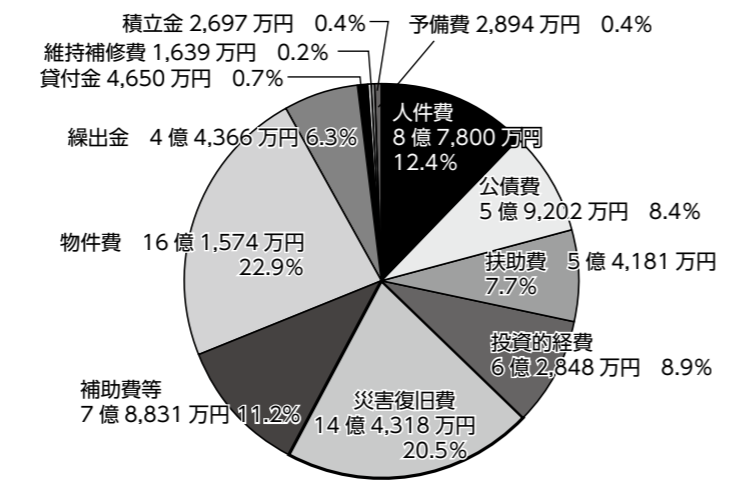
をつくります！」
③「地域で支えあう、人にやさしい鏡石をつくります！」
④「新しい産業を開花させ、活力あふれる鏡石をつくります！」
⑤「快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります！」の5つの柱を基軸に、各種事業の重点的かつ効果的な配分に努めたところであります。
また、一般会計、特別会計、企業会計を合算した総額につきましては、105億4,975万円の前年とほぼ同額の予算となりました。
主要事業につきましては、「災害復旧事業」「被災者支援事業」「防災関係事業」「原子力災害対策事業」「ブランド・イメージアップ事業」「進化する鏡石実行プロジェクト」等とした6分野と、5次総合計画における行政分野別施策として5分野の事業に取り組むこととしております。

歳出

歳出においては、徹底した事務事業の見直しと経常経費の圧縮を図りながら、町政運営の基本方針を示す第5次総合計画のもとに、新たな感覚で施策評価を行い、復旧・復興に係る取組みを最優先に予算編成を配慮しました。
なお、主な事業につきましては4ページへ掲載しています。

歳出(目的別)

款	本年度	前年度	比較
1 議会費	8,724万円	8,832万円	△108万円
2 総務費	5億4,485万円	5億4,407万円	78万円
3 民生費	13億9,540万円	11億6,521万円	23,019万円
4 衛生費	13億6,670万円	13億6,144万円	526万円
5 労働費	518万円	519万円	△1万円
6 農林水産業費	3億1,459万円	3億7,581万円	△6,122万円
7 商工費	7,463万円	8,231万円	△768万円
8 土木費	4億2,776万円	4億5,697万円	△2,921万円
9 消防費	3億945万円	2億6,406万円	4,539万円
10 教育費	4億6,005万円	4億6,999万円	△994万円
11 災害復旧費	14億4,318万円	16億4,206万円	△1億9,888万円
12 公債費	5億9,203万円	6億2,290万円	△3,087万円
14 予備費	2,894万円	3,167万円	△273万円
合計	70億5,000万円	71億1,000万円	△6,000万円



- 【予算の仕組み】
町の予算は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分類することができます。各会計には、町に入るお金の歳入、町から出るお金の歳出があり、法律でそれぞれの収支の均衡が義務づけられていますので、赤字予算・決算は許されません。一般会計は、町行政運営の財政を基本的に経理する会計で、福祉や教育、建設など町の事業の大部分をまかなう大事な会計です。
- 【歳入】
歳入は、地方公共団体が一般会計年度における一切の収入を言います。
- 【歳出】
歳出は、地方公共団体が一般会計年度における一切の支出を言います。
- ◎性質別歳出
- ▼町税 皆さんや法人が町に納めるお金
 - ▼繰入金 各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金
 - ▼地方交付税 自治体の財政力に応じて国から交付されるお金
 - ▼町債 国や銀行などからの借入金
 - ▼公債費 借入金の返済に使われるお金
 - ▼投資的経費 道路、学校などの建設・整備に使われるお金
 - ▼繰出金 各種基金や特別会計などへ繰り出されるお金
 - ▼維持補修費 町が管理する公共施設などの修理に使われるお金
 - ▼扶助費 社会保障制度の一環として、児童、高齢者、生活困窮者を援助するために使われるお金
 - ▼議会費：議会運営に使われるお金
 - ▼総務費：行政全般の事務などに使われるお金
 - ▼民生費：障害者、高齢者に対する福祉や子育て支援などに使われるお金
 - ▼衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などに使われるお金
 - ▼農林水産業費：農林業振興ための支援や生産基盤整備等に使われるお金
 - ▼商工費：商工業や観光の振興のために使われるお金
 - ▼土木費：道路や河川、施設建設など社会資本整備のために使われるお金
 - ▼教育費：教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などに使われるお金
 - ▼公債費：事業を行うために借りたお金(町債)の元金・利子や一時借入金の利子を支払うお金

用語の説明

平成25年度鏡石町各会計当初予算総括表

会計区分	本年度	前年度	比較	
一般会計	70億5,000万円	71億1,000万円	△6,000万円	
国民健康保険特別会計	13億6,510万円	13億4,031万円	2,479万円	
後期高齢者医療特別会計	8,852万円	9,595万円	△743万円	
介護保険特別会計	6億8,524万円	7億885万円	△2,361万円	
土地取得事業特別会計	301万円	303万円	△2万円	
工業団地事業特別会計	4,675万円	7,033万円	△2,358万円	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	9,850万円	1億3,500万円	△3,650万円	
育英資金貸付費特別会計	931万円	910万円	21万円	
公共下水道事業特別会計	4億6,730万円	4億4,060万円	2,670万円	
農業集落排水事業特別会計	6,600万円	6,520万円	80万円	
小計	98億7,973万円	99億7,837万円	△9,864万円	
上水道事業会計	収益的	2億3,325万円	2億3,750万円	△425万円
	資本的	4億3,677万円	3億3,407万円	1億270万円
	計	6億7,002万円	5億7,157万円	9,845万円
合計	105億4,975万円	105億4,994万円	△19万円	